



毛ノ木

症候群

毛ノ木

第拾号

式千拾貳年伍月貳拾肆日

2012/05/09

sound machine vol.54

@KICHIJOJI SHUFFLE

Live Report



A dimly lit stage with blue lighting. A microphone stand is visible on the right side. The background is dark with some blue light spots.

5月9日、水曜日。

この日は強めの雨が降ってたのもあり、
前日に比べ少し肌寒く感じた。

今回の会場である吉祥寺 SHUFFLE は、
7月に行われるモノオト2度目のワン
マンライブの場所だ。そういった意味
で、今回のライブはすごく大事なもの
になるだろう。



この日のモノオトは4バンド中3番手の出演だった。

出番前、モノオト目当てのお客さんが続々とステージの近くに集まってきた。

転換中の会場内スクリーンには、

BGMとしてロックバンドやヒップホップユニット、

無名のアイドルグループなどのPVが流れる、少し独特な空気であった。

「今日はモノオトライブです！

吉祥寺 SHUFFLE さんで我らモノオトは20時～です！

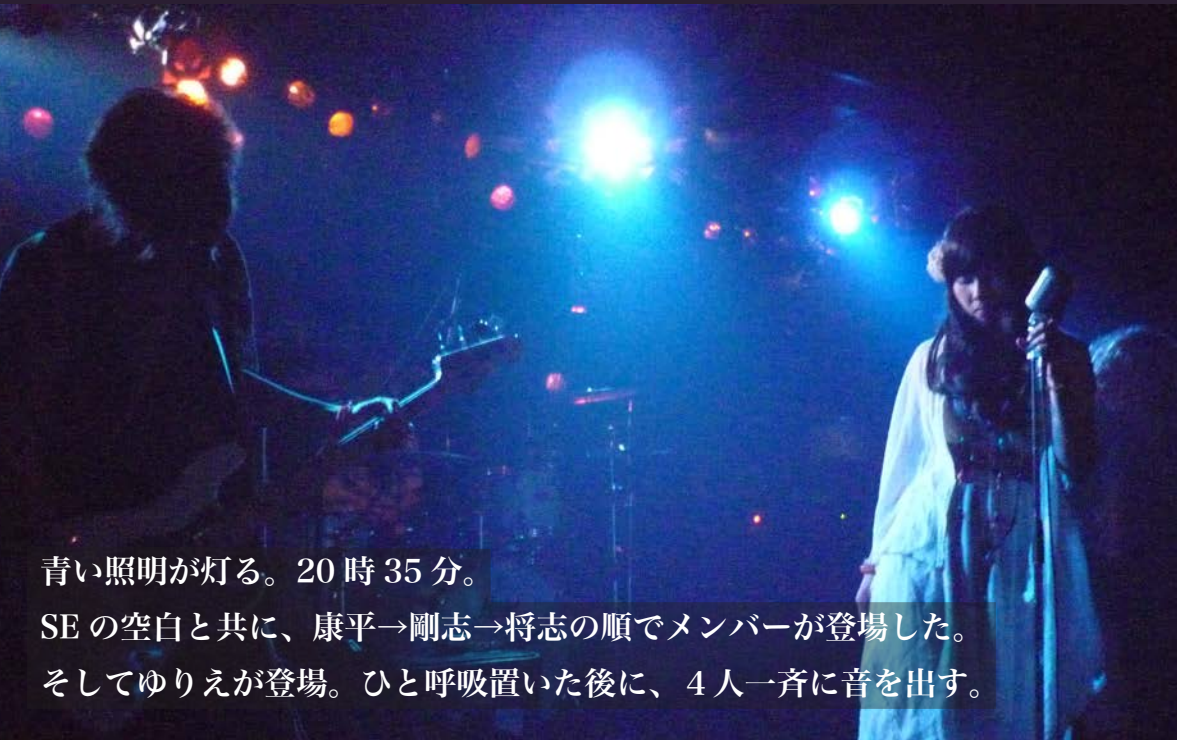
セットリストもいつもと少し違うかも？

気になる方は是非お越しく下さい！

みんなの知らない曲もやるかもね。。。笑」

ライブの直前に、将志がtwitterで記した意味深な内容、

これはどういうことだろうか。



青い照明が灯る。20時35分。

SEの空白と共に、康平→剛志→将志の順でメンバーが登場した。

そしてゆりえが登場。ひと呼吸置いた後に、4人一斉に音を出す。

「こんばんは、モノオトです。」

1曲目は、『夜半 - よわ -』。

前回の渋谷 eggman と変わり、最初から攻める姿勢だ。

曲の間奏では、剛志と将志がお客さんの前に出て会場を盛り上げた。



「こんな雨の時期にぴったりの曲、聴いて下さい。」

外は未だ強い雨が降っているなか、次に演奏されたのは

『雨降 - あめふり -』。

確かに、今日という日にすごく合っていた。

そして次の曲、スタンドマイクからハンドマイクに持ち替え、

『羽根 - はね -』。

しっとりした雰囲気を変えた。



「改めまして、モノオトです。」

3曲を終えたところでMC。

先日結果が伝えられた、rockin'on 社のオーディション企画『RO69JACK』の一次審査に通った事の報告。

そして、7月6日にここ吉祥寺 SHUFFLE にて、

今年2月以来の2度目のワンマンライブが行われる事をしっかりと宣伝。


「モノオトの世界観で遊びたい人はぜひお越し下さい。」

《たとえば 手と手が触れること／それだけの事できえ／ただ愛しくて》

冒頭の歌詞を語りながら始まった、

『恋衣 - こいごろも -』。

剛志のギターソロがとても印象的だった。かっこ良かった。



『恋衣 - こいごろも -』を終え、
5曲目が静寂のなかからいきなり演奏された。
しかし、なにやら聴いたことのない曲だった。
イントロから激しいドラムと、それに合わさる4人の攻撃的な演奏。
ゆりえがとても力強く歌い、そしてそのテンポのまま曲が終わった。
この日が初めてライブで披露されたという、
この曲のタイトルは『幻境 - げんきょう -』。
敢えてありふれた言葉で表現すると、
モノオトには珍しく疾走感を感じるものだった。
これからのライブでの新たな定番曲になる予感がした。



最後に演奏されたのは、前回の渋谷 eggman と同じく
『佚楽 - いつらく -』。
こうして、この日のライブは終了した。



○Set List○

SE. 空白 - くうはく -

1. 夜半 - よわ -

2. 雨降 - あめふり -

3. 羽根 - はね -

4. 恋衣 - こいごろも -

5. 幻境 - げんきょう -

6. 侏楽 - いつらく -



ライブ スケジュール



5月30日(水)

モノオト企画「ウキヨノ詩遊ビ」

場所：高田馬場 CLUB PHASE

6月26日(火)

場所：渋谷 eggman ※詳細未定

7月3日(火)

「音霊 OTODAMA SEA STUDIO 2012」

場所：音霊 OTODAMA SEA STUDIO (神奈川県逗子海岸)

モノオト 2nd ワンマンライブ決定!

7月6日(金)

「藍糸ーアオイイトー～月涼し 星天に捧ぐ逢いの宴～」

場所：吉祥寺 SHUFFLE

各詳細はホームページでご確認下さい。



著作権について

この雑誌「モノオトシンドローム」の著作権はモノオトが保有しております。本誌を閲覧されるお客様は、個人的に利用される場合に限り、公衆回線／専用回線を通して、本誌をお客様の端末に表示すること、複製保存することが認められております。

下記の行為は、著作権及び著作者人格権侵害となるため、禁止します。

- (1) 本誌 PDF データの全部または一部を修正、変更、翻案、編集、切除等、改変する行為
- (2) 本誌 PDF データの全部または一部を解析したり、派生物を制作する行為
- (3) 本誌 PDF データを第三者に複製、複写、頒布、貸与、譲渡、自動公衆送信する行為